

## 令和6年度 学校経営方針

町田市立鶴川第四小学校

校長 悴 田 隆 良

### 【教育目標】

○からだをきたえる子 ◎よく考える子 ○思いやりのある子

### 【目指す学校像】

「子供たちが自分のよさを見つけ、自信と意欲をもって楽しく学んでいく学校」  
～子供、保護者・地域、教職員が喜びを感じることができる学校～

- ・子供たちが学ぶことに楽しさ、面白さを感じる学校にする。
- ・保護者や地域の方々が「子供たちのために協力したい」と思う学校にする。
- ・教職員がもてる力を十分に発揮し、学びの場をつくることにやりがいを感じる学校にする。

### 【目指す児童像】

- \* 命を大切にし、心も身体も元気な子供
- \* 自ら進んで学ぶ子供
- \* 相手の気持ちがわかり、行動できる子供

### 【今年度の重点・努力目標】

#### ○確かな学力

【子供たちに「わかった」「できた」を味わわせる授業づくり】

- ・児童が学び続けるための意欲を高め、知識を深める授業の構築
- ・基礎基本の学習内容の確実な定着
- ・ICTを有効に活用した指導方法の工夫、改善（協同的な学びと個別最適化した学び）
- ・えいごのまちだの推進（校内外における体験的な英語学習）
- ・キャリア教育の推進
- ・放課後補習教室や家庭学習による補充学習

#### ○豊かな心

【安全で安心できる落ち着いた学校生活づくり】

- ・いじめを許さない環境づくりといじめ問題への意識の向上
- ・「心のアンケート」の確実な実施と分析。気になる児童への早期対応
- ・「あいさつ」によるコミュニケーション力の育成
- ・特別の教科 道徳の充実
- ・異学年や特別支援学級との交流活動の活性化

## ○健やかな体の育成

### 【運動、食事を大切にした健康づくり】

- ・外遊びの奨励
- ・体育科の指導の充実
- ・体力テストの分析とその活用（敏捷性、投げる力、持久力）
- ・給食指導を中心にした食育の推進

## ○社会に開かれた教育課程

### 【保護者&地域との協働体制づくり】

- ・コミュニティスクールとしての円滑な運営と活動の充実
- ・幼保小中が連携した教育活動の推進
- ・ボランティアコーディネーターと連携した地域教育力のさらなる活用
- ・ホームページ、クラスルーム、学校だより、学年だより、専科だよりでの情報発信
- ・学校、保護者、地域で連携を図る生活指導

### 【教育活動の具体的な方策】

#### <学校運営の視点から>

- ・アレルギー対応 ⇒ 保護者との連携強化、未然防止のための組織的な対応の徹底
- ・環境美化の徹底 ⇒ 教室の環境整備、使った物の後始末
- ・感染症の防止対策 ⇒ 発生状況に合わせた対応、「つるよんスタイル」の徹底
- ・2026年度の新校開校に向けた教育課程づくりと環境設備の整理

#### <学習指導の視点から>

- ・基礎基本の学習内容の確実な定着 ⇒ 既習内容の反復学習、モジュールの有効活用
  - ・校内研究（国語科）を通じた授業の工夫と改善
- ・ICT教育の推進 ⇒ 児童1人1台タブレット端末を有効に活用した学習活動の実践
- ・プログラミング教育⇒5年生（理科）6年生（算数）、プログラミング的思考の育成
- ・情報モラル教育の充実 ～ 継続的な学びとセーフティ教室（高学年）の実施
- ・読書活動の推進

#### <生活指導の視点から>

- ・教職員が手本となり、子供たちの意識向上を図る ⇒ 「あいさつの励行」「時間を守ること」  
「適切な言葉遣い（正しい人権感覚）」
- ・24時間以内の問題解決姿勢 ⇒ 複数での対応、保護者への連絡
- ・不登校、不登校傾向の児童に対する対応と解決に向けた取り組み ⇒ 校内の居場所づくり  
家庭との連携

#### <特別活動の視点から>

- ・学級活動の充実～自分の思いや考えを伝えることができる学級づくり
- ・児童が主体的に計画、実行する活動の奨励

## 『本校の特色』

### ☆二学期制の教育課程

- ・前期（4月8日～10月11日）と後期（10月15日～3月25日）の二学期制
- ・長期休業日（夏休みと冬休み）を「既習の学習内容を学び直す期間」として位置付け
- ・長期休業日前に児童が学習と生活の状況を振り返り、今後の課題を明確にする時間を設定
- ・長期休業日前に個人面談を実施 ⇒ 学習や生活の課題を保護者に伝達

### ☆始業前や放課後を活用した学習

- ・モジュールを活用した基礎学力を定着させる指導（主に国語と算数）
- ・鶴四サブリ（放課後補習教室）…地域のボランティア人材を講師とした教室  
基礎基本の学習内容を復習する（算数）  
3年生以上の希望制。定員あり。

### ☆「あいさつの励行」

- ・あいさつ運動の実施（PTA活動&地域の協力・児童会活動）

### ☆特別支援教育の推進

- ・知的固定学級と情緒固定学級を併設
- ・特別支援学級の校内交流活動を推進
- ・近隣校（鶴川第二小学校、鶴川中学校）との交流活動の実施

### ☆オリンピック・パラリンピック教育レガシーアワード校の取組

- ・「ボランティアマインド」「障がい者理解」「豊かな国際感覚」の視点からの教育活動

### ☆鶴川第三小学校との連携

- ・2026年度に開校する新しい学校を見据えた教育活動の共有や児童、教職員の交流活動

### ☆真光寺中学校との連携

- ・真中トライアル、職業体験の受け入れ、教職員の交流（授業参観、意見交換会）

### ☆国士舘大学との連携

- ・学生による様々なボランティア（学習補助、体力テスト、運動会）
- ・国際理解教育の授業協力（ゲストティーチャーの招聘）

「チーム鶴四」

＜保護者、地域、学校と一緒に鶴四小の子供たちを育てる＞